



今頃！セミの抜け殻

歳時記に取り上げられる「二十四節気(※)」は太陽の動きをもとにしています。毎年同じ時期に同じ節気が巡ってくるので、季節を知るよりどころにもなりますし、天候に左右される農業の目安にも大変便利なものとなっています。ふれあいの村も寒さの厳しくなる「小寒」(一月五日頃)、寒さが最も厳しくなる「大寒」(一月二十日頃)を迎えています。目にも鮮やかな新緑から、燃えるような紅葉へと移ってきたこの村の木立は、春を迎えるためにじっと寒さに耐えている姿を見せているようです。南北に長い日本列島はそれぞれに季節の便りを伝えていきます。温暖な神奈川の地が銀世界に染まることは少ないでしょうが、今年はこの村に雪が降ってくるのでしょうか。



(※) 太陽が移動する通り道である『黄道(こうどう)』を二十四等分したものを「二十四節気」

(ふれあいの村の今年の仕事始めの一月五日に、短時間ですが初雪が降りました)

今、ふれあいの村では・・・

強い風が吹いた後に、カリンを見つけました。果実の成分が、咳や痰など、喉の炎症に効くとされ、のど飴でおなじみです ◆ドライフラワー状のアジサイがありました。飾り花の色がまだ残っています。次のシーズンにつながる冬芽と葉痕のかわいい形もあらわれています ◆冬の乾燥した空気と冷たい風、澄んだ青空にコブシが映えます。果実と、ふわふわの芽鱗も銀色に輝いています。桜より開花の時期が早く、作物の植え付け時期を判断する目安にする地方もあるそうです。白い花が待たれます。



コブシ



カリン



アジサイ飾り花



アジサイの葉痕

☆来月のファミリーコミュニケーションデー：2月4日(日)

10:00～12:00《自然観察会》冬芽の生長と葉痕、雪上(降るか?)の足跡さがし(参加費無料)

13:00～15:00《777教室》折り紙で「紙びなを作る」(材料費等:150円)

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

電話：0465-72-2010 FAX：0465-72-2013

URL：<http://www.ashigara-fureai.com/>



ふれあい広場でくらししている金太郎と仲間たち。

きょうは、くまずけが、



「むこうでカマキリがかりをしているよ。みんなでいこう」というので、

みにいきました。ちかくまでいくと、ぎゃくさんかっけいのかたちのおをした

カマキリがおおきな
はなのうえで

まえあしをきちんとそろえたかりのポーズでえものをまちかまえていました。そばには、らんしょうとよばれるたまごもありました。このなかは

きほうにつつまれていてそとからのしょうげきからまもってくれ、だんねつこうかもあってあたたかくなっています。たまごのままふゆをこし、はるになつてあたたかくなると、ふかがはじまります。

★フィールドワーク★

自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

『春の七草』の中のひとつに「ホトケノザ」が入っていますが、これは標準和名がコオニタビラコというキク科植物のことを指しています。中央の写真の「ホトケノザ」はシソ科の植物で、食用にはなりません。まったくの別物ですが、本種を春の七草と誤解されることがあるので、十分な注意が必要です。花期は3～6月頃に上部に紫色につきます。



ミチタネツケバナ



キランソウ



セイヨウタンポポ



ハハコグサ 花



ホトケノザ



ナズナ



ハハコグサ 葉



アメリカフウロ



ヒメジョオン